

# プロジェクトG

## 歯科技工所の挑戦



日本は「人生100年時代」といわれる超高齢社会を迎え、健康長寿社会の実現に向けた質の高い医療の提供が求められている。その中で、歯科医療の一翼を担うわれわれ歯科技工士の仕事はますます重要となっている。

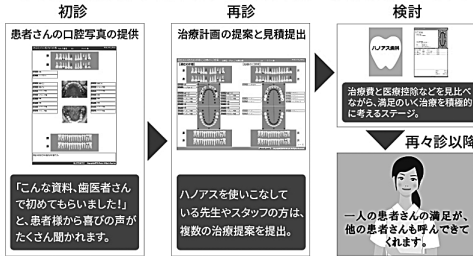
中央歯科補綴研究所は、今春創業33周年を迎える。患者さんの素敵な笑顔と健康を守りつづけます」を基に、日本一の歯科技工所を目指して邁進している。

また、創業30年の節目には、この先30年の歯科医療を総合サービス業と捉え、「Miracle」を設立、歯科医院向けに患者目線で作られた治療提案書生成ソフトの開発に着手した。

長年、歯科技工業に携わってきた、顧客（患者・歯科医）のニーズがいかに大切

# 治療の信頼築くソフト開発

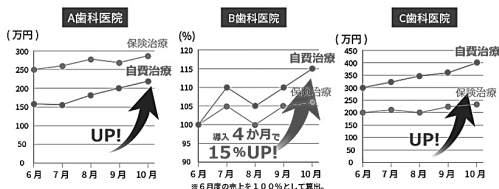
### 患者さんとの信頼の架け橋ができるプロセス



開発した治療提案システムの画面

### 導入実績

信頼の架け橋ができることで、多くの導入医院では、自然と「自費治療率」が上がっています。また口コミによる新患も増えるメリットも伺っています。



## ④ 中央歯科補綴研究所 木村正

私にとって歯科技工士という仕事はまさに天職であった。この仕事に出会えて本当に幸せだと思っている。社員数は現在36名。彼らとともに掲げた経営理念、「私たちは歯科技工をとおして

な仕事であるかは分かっているつもりでいたが、実は知らないことが多くあった。そこで顧客ニーズにマッチした商品開発につなげるため、数多くの展示会に出

展、アンケートを公募してきた。その結果、治療に対する患者の声として、「ブリッジの素材には種類があると後から知った。偽物の歯なん

てこんなものだとあきらめてほしいかった」等々、生々しい意見がたくさんあった。

さらに、患者さんによっては経済的に余裕のある人もいればそうでない人もいるが、「より良い治療を受けたい」「さまざまな選択肢の中から自分に合った治療や技工物の素材を知りたい」というニーズが想像以上にあった。

患者の満足できる提案が誰にも簡単にできる仕組みを作るといのが、治療提

案システム「ハノアス」の開発動機であった。このシステムを活用して、先生と患者さんとの信頼関係が強まった結果、増患や自費率向上につながったとの評価を受けている。

このシステムの普及により、「質の高い歯科医療の提供」の実現や「患者治療満足度の向上」、「歯科医院経営力の強化向上」につながれば大きな喜びになる。

AIが産業構造や働き方を大きく変えていくのは間違いない。歯科デジタル化は加速し、IOSの普及が歯科業界を大きく変えていく日は近いだろう。しかし、国民の歯と口腔の健康と全身の健康維持向上に貢献できる素晴らしい仕事として、歯科医師とともに歯科技工士はますます活躍の舞台を広げるものと確信している。